

防火防災作文 受賞作品の紹介

今月号では、「平成30年度町防火防災作文コンクール」最優秀賞を受賞した高橋胡春さん（五城目小学校5年）の作品を紹介します。

最優秀賞受賞作品

「火事は防げる」

私は最近、火事のニュースをたくさん見ました。家がすべて燃えていました。実際に亡くなっている人もいました。もし私の家が火事になってしまったら、私の大事な家族も亡くなってしまうと思います。家が燃えて、住むところもなくなるし、大事なものも燃えてしまいます。私はその大きな火事は、小さなことが原因だと思っています。火事は冬に多く発生しています。原因は、ストーブを使う機会が多くなるからです。冬休み中も毎日ストーブをつけています。私の両親は仕事をしているので、姉弟だけにいる時間があります。だから、ストーブの上に燃えやすい物を置かないように

ような返事がきた。「税金のおかげだね」と。この時、私は税金が自分の生活にも関わっている、とても重要なものだと思っていた。さらに、小中学校の教科書は税金でまかなわれているということを思い出して、税が少し身近に感じられた。実は、さらに税の大切さを実感した出来事がある。今年の五月に私の住む地域で発生した豪雨災害だ。その日は観測史上最大の記録的な大雨で、私は早めに部活動を切り上げて帰宅した。川の様子に気がなり、家の中から外を見てみると、数分前まで普通に車が通っていた道路が冠水していた。私の家の向かいに住んでいる人たちはすでに避難しており、私たちも避難しなければいけないのか不安になった。幸い水位が上がることなく、家も家族も無事だった。しかし、他の地域は被害が大きく、農地の冠水や道路の決壊があちこちで起こっていた。この災害の復旧に使われるのが税金である。私はこの災害を通して、国民が納める税金は国民のために使われるということに改めて実感した。

気をつけたいです。両親は毎日、「ストーブをつける時は気をつけてね」といいます。正直私は、「そんなことくらい分かっているよ」と思っています。でも、火事のニュースを見て、ストーブに注意しないと、大きな火事になってしまうかもしれないということをよく知り、これからは気をつけていきたいと思えました。防災学習館で、もしもの火事のために消火器の使い方や、画面の火を消す体験をしました。それは私が思っていたよりも時間がかかり、どうにか消すことができたが、消せていないグループもありました。私はその時初めて、消防士の方の苦労が分かりました。地しんは自然災害で、自分では防ぎ事ができません。しかし、火事は人の力で防ぎることができます。私も注意することによって、火事を防ぐことができます。みんなが気をつけていれば、火事は起こらないと思います。当たり前のことを当たり前にやるのが大切だと改めて思いました。

税についての作文 受賞作品の紹介

今月号では、「平成30年度中学生の税についての作文コンクール」で五城目町納税貯蓄組合連合会長賞を受賞した原田孔明さん（五城目第一中学校3年）の作品を紹介します。

五城目町納税貯蓄組合連合会長賞受賞作品

「暮らしを支える税」

私は今まで、税金に対する関心がありませんでした。税金のほとんどは大人が納めているので、子供の自分には関係ない。そう思っていた。私にとって税は遠い存在だったのだ。しかし、あの日を境に、私の税へのイメージは大きく変化した。二年前の春、私は中学校に入部活動で頑張ったり、毎日が楽しく新鮮だった。入学して思ったことはいくつもあるが、最も印象的だったのは、校舎が新しいことだ。教室にはエアコンがついているし、床も天井も驚くほどきれいだ。なんて気持ちのいい学校なんだ」と感動したこともあった。入学式の後に、親にこのことを話したら、この

イメージは大きく変わった。税金とは、ただ国に納めるだけのお金ではない。私たちの教育や自然災害による被害の復旧などに使われる、なくてはならないものだ。もし、税金が無かったらどうだろう。道路は穴だらけ、公共施設は古いまま、災害が起きてても自分でお金を出して復旧する。こんな世の中は考えられない。今私たちが不自由なく生活できているのは、税金が暮らしを支えているからなのだ。税がいかに必要不可欠であるか分かった。では、私たち中学生にできることは一体何だろう。それは、税に対して感謝の気持ちをもつことだと思う。税金はあって当たり前、子供には関係ないと考えるのではなく、税金があるから今の暮らしがあるのだと感謝しなくてはならない。私たちは将来、税金を納める「納税者」となる。その時に、どれだけ税に対する関心があるかで、納税は面倒だと思おうか、大切なことだと思おうかが決まる。私は様々な経験を通してもっと関心を高めていきたいと思う。税は国の未来を創る大切なものだから。

イメージは大きく変わった。税金とは、ただ国に納めるだけのお金ではない。私たちの教育や自然災害による被害の復旧などに使われる、なくてはならないものだ。もし、税金が無かったらどうだろう。道路は穴だらけ、公共施設は古いまま、災害が起きてても自分でお金を出して復旧する。こんな世の中は考えられない。今私たちが不自由なく生活できているのは、税金が暮らしを支えているからなのだ。税がいかに必要不可欠であるか分かった。では、私たち中学生にできることは一体何だろう。それは、税に対して感謝の気持ちをもつことだと思う。税金はあって当たり前、子供には関係ないと考えるのではなく、税金があるから今の暮らしがあるのだと感謝しなくてはならない。私たちは将来、税金を納める「納税者」となる。その時に、どれだけ税に対する関心があるかで、納税は面倒だと思おうか、大切なことだと思おうかが決まる。私は様々な経験を通してもっと関心を高めていきたいと思う。税は国の未来を創る大切なものだから。



がんばる人に
賞状

第58回全県新年書きぞめ展

▼優秀賞 高橋 胡春（五城目小5年）
▼金賞 阿部紗理菜（五城目小2年）
高橋 千遥（五城目小2年）
館岡 紅花（五城目小3年）
武田 咲桜（五城目小4年）
伊藤 輝（五城目小5年）
阿部理早子（五城目小5年）
石井 心音（五城目小5年）
小林 翼沙（五城目小5年）
館岡 莉子（五城目小5年）
佐藤 紅花（五城目一2年）

第59回秋田県児童生徒美術展

▼平面の部
▼優良賞 嶋崎駿之介（五城目小2年）
柳原 日暖（五城目小4年）
伊藤 園乃（五城目小5年）
高橋 胡春（五城目小5年）
畑澤 莉子（五城目一1年）
佐藤 紅花（五城目一2年）
佐々木 弓（五城目一2年）
館岡ひなた（五城目一3年）
原田 孔明（五城目一3年）

防火・防災作文コンクール

▼最優秀賞 高橋 胡春（五城目小5年）

第31回中央地区ソロコンテスト

▼優良賞 八柳 健（五城目一2年）
丸山 虎徹（五城目一2年）

申告相談日程	日付と曜日	町内名	会場	全町		役場4階「大会議室」
				日付と曜日	町内名	
森山	3/1	金	岡本2区、浦横町	13	水	※相談時間 午前9時～正午、午後1時～午後3時 (受付時間は午前8時30分～午後3時) ※都合がつかない場合は、割当外の会場でも申告相談ができます。 ※予備日は、大変混雑しますので、早めの申告相談をお願いします。
	5	火	湯ノ又(1～4区)、小川口	14	木	
	6	水	浅見内(1～6区)	15	金	
	7	木	大川1・4区	予備日	予備日とします。	
内川	8	金	大川2・3区			
	11	月	石崎、谷地中、曙町			
	12	火	下樋口、西野			